

第23回 特定非営利活動法人 日本顎変形症学会 総会・学術大会
 The 23rd Annual Meeting of the Japanese Society for Jaw Deformities

演題登録期間
 2012年 12月20日◎
 2013年 1月31日◎

顎変形症治療におけるパラダイムシフト
 The paradigm shift in surgical correction for jaw deformity

会期 2013年6月22日(土)・23日(日)
 会場 大阪国際会議場 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

大会長 覚道 健治(大阪歯科大学 口腔外科学第二講座 教授)
 学術委員長 中嶋 正博(大阪歯科大学 口腔外科学第二講座 准教授)

特別講演 Dr.Patric Diner (Armand Trousseau Hospital, France)
 「顎顔面領域における骨延長法の進歩と未来(仮題)」

教育講演 Prof.Nelson B.Powell(Stanford University School of Medicine, U.S.A.)
 「睡眠時無呼吸症候群と顎矯正手術(仮題)」

シンポジウム
 1.「東アジアにおける顎変形症治療の現況と連携」
 2.「顎変形症治療におけるミニマルインターベンション」
 3.「術前矯正治療の限界とテンポラリーアンカレッジデバイス」

Contents

- TOP
- 大会長挨拶
- 開催概要
- プログラム
- 演題募集
- 採択演題一覧
- 参加登録
- 参加者へのご案内
- 会場案内
- 宿泊案内

2013年6月22日、23日、大阪にて行われました“日本顎変形症学会”にて東京歯科大学口腔外科の先生方と“下顎骨延長術と上下顎移動術により治療を行った著しい下顎後退症の1例”という演題でポスター発表を行ってきました。



写真は主演者の山本先生です。